



平成 27 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 M o n o t a R O
代 表 者 名 代表執行役社長 鈴木 雅哉
(コード番号：3064 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役管理部門長 甲田 哲也
電 話 番 号 (06) 4869-7190

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 1 月 29 日に公表しました平成 27 年 12 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正致しますので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 27 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	55,617	6,003	5,999	3,706	30.19
今回修正予想 (B)	57,589	6,937	6,949	4,360	35.41
増減額 (B-A)	1,972	934	950	654	—
増減率 (%)	3.5%	15.6%	15.8%	17.6%	—
<ご参考>前期実績 (平成 26 年 12 月期)	44,937	4,323	4,351	2,544	20.80

(注) 当社は、平成 27 年 7 月 29 日開催の取締役会において、平成 27 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割することを決議しており、平成 26 年 12 月期及び平成 27 年 12 月期の 1 株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が平成 26 年 12 月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 業績予想修正の理由

当社は、当連結会計年度 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日) 上半期におきまして、① 昨年 (平成 26 年) 7 月に「尼崎ディストリビューションセンター」を稼働させて以来の在庫商品点数の増加や、② 初めて 2 月下旬の時期に発刊したカタログ及び 2 月下旬から 3 月初旬にかけて放映した TVCM の影響等による季節需要の取込みが相乗的に功を奏し、前回発表を上回る業績を達成致しました。また当社は、新規顧客の獲得と更なる成長に向け、広告宣伝費への投資を強めることにより、下半期も当初計画を上回る売上の伸長が続くものと考えております。

一方、当社の韓国子会社である NAVIMRO Co., Ltd. の上半期実績につきましては、韓国経済の悪化等の影響があるなか、コストを抑えた効率的な経営により、売上面において当初計画を下回ったものの、利益面においては当初計画を上回りました。同社は、下半期におきまして、成長に向けた投資を強化してまいります。現在の景気動向は下半期も続くものと見込んでおり、下半期についても修正を致しました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上